

労働者協同組合活用促進モデル事業の概要

1 事業の目的

○ 労働者協同組合の活用を通じ、地域課題に対応し、人材不足に悩む地域に必要な担い手を確保しつつ、個々の事情に応じ 多様な働き方が可能となる環境を整備し、働きづらさを抱える方々（ひきこもり経験者等）や女性、中高年齢者などの多様な雇用機会を創出することを目的とし、創意工夫ある地域の取組を支援し、全国展開を図るもの。

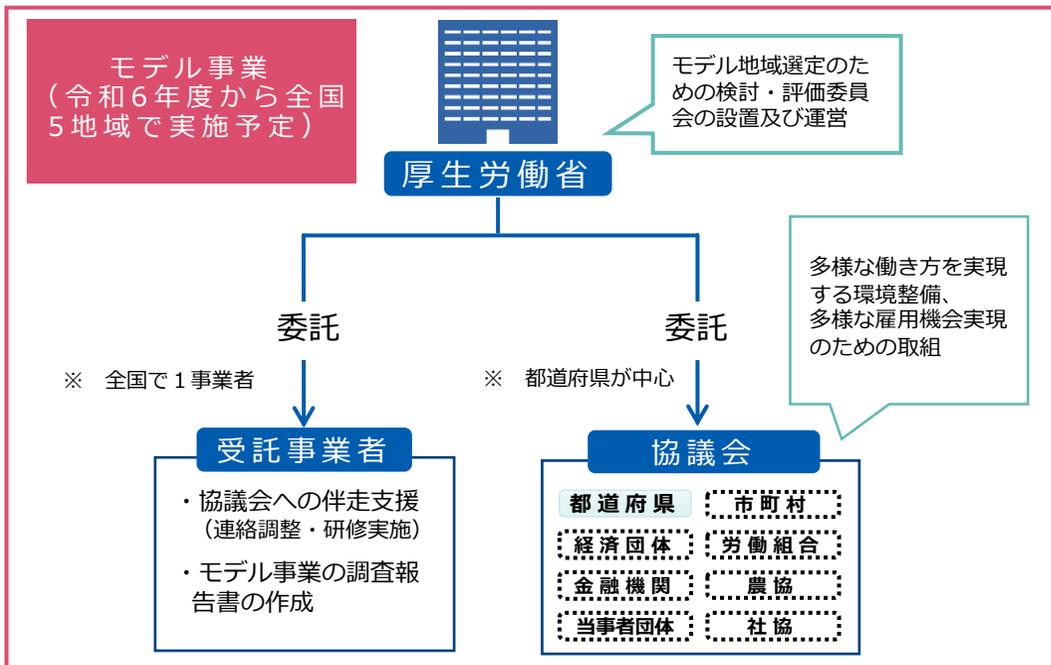
※ 労働者協同組合：令和4年10月に施行された労働者協同組合法に基づき、労働者が組合員として出資し、その意見を反映して、自ら従事することを基本原理とする法人制度

2 事業の内容・スキーム・実施主体等

○ 国がモデル地域として選定した都道府県に設置される協議会において、都道府県が中心となり、市町村や地域の経済団体、当事者団体、農協等の団体との連携・協力を通じ、労働者協同組合を活用して、①多様な働き方が可能となる環境整備や②働きづらさを抱える方々や女性、中高年齢者などの多様な雇用機会を創出する。

○ 受託事業者は、協議会に対して、専門的知見に基づき、助言や相談等を通じた伴走支援を実施するとともに、国において他の地域への横展開に活用できるよう、本モデル事業を通じて得られた結果をまとめ、報告書を作成する。

○ そのほか、国において、モデル地域選定等のために検討・評価委員会を設置し、運営を行う。



【モデル地域の協議会で実施する事業の例】

- ① **労協活用に向けた相談窓口設置**
労協活用を検討する個人や自治会等からの相談を受付（電話及びメール）
- ② **多様な雇用機会創出のための講習会・ワークショップ**
 - ・労協を活用した地域の担い手確保を検討している個人や自治会等への講習会
※ 行政書士会や司法書士会と連携した講師確保
 - ・講習会に参加した個人等に対して、より少数でのワークショップを実施
- ③ **労協とのマッチング支援（面接会の開催、情報発信等）**
 - ・中高年齢層の活躍の場を検討している企業や中高年齢層の労働者とのマッチング
 - ・地域おこし協力隊とのマッチング
 - ・民間企業等で働く副業・兼業希望者とのマッチング
- ④ **多様な働き方実現のための講習会・ワークショップ**
 - ・働きやすさ、働きがいの改善のための雇用管理改善講習会
※ 社労士会と連携して講師確保
 - ・労協を活用して働きづらさを抱えた方々の継続的就労や意見反映を適切に図るための講習会
※ 社会福祉協議会と連携して講師確保